

昔の大物ゆかりの地

歴史上の偉人コース

コンセプトポイント



1 横蔵寺

曹洞宗の寺院で、本尊は釈迦牟尼仏(しゃかむにぶつ)。この寺院に保管されている十一面千手千眼観音像は、鎌倉時代の仏師、運慶・温慶(うんけい・たんけい)父子の合作と言われている秘仏で、25年毎の開帳となっている。

チェックポイント 東大寺金剛力士像を造ったことで有名な運慶と、その息子温慶ゆかりの寺。



2 寸倍石

1762年に出版された「播磨鑑」の中に記述がある石。昔、武蔵坊弁が高御位山(たかみくらやま)の山頂で弁当を食べていた際、飯の中に小石が入っていたのを箸でつまんで投げたら鳥が岡の林の中に落ちた、という逸話がある。その石を地元の人が北野新田に持ってきたと言われている。年々大きくなったので寸倍石と呼ばれるようになった。

チェックポイント 怪力無双の荒法師として有名な武蔵坊弁慶にまつわる石。



3 教信寺

天台宗の寺院で、本尊は阿彌陀如来(あみだによらい)。平安時代前期の僧、教信上人(きょうしんしょうにん)がこの土地に庵を作り、庶民仏教の普及に努めた所である。幕末期に、本堂を焼却したが、明治には書写山円教寺の念仏道場を移築したのが現本堂となっている。また、教信上人の命日には、毎年、「野口念仏」と称し、会式を行っている。

チェックポイント 境内には、県指定文化財である教信上人の石像もある。また、春には見事な桜も見ることができる。



4 駅ヶ池

加古川で仏教を普及させたことで有名な教信上人が土地の人にもらった鮒を食べたところ、それを見た者から「僧にあるまじき行為」と非難された。そこで教信上人はその者を駅ヶ池へ連れていき、「仏道修行者は魚を食うもよし、食わぬもよし」と口から吐き出したところ、鮒は何事もなかったように泳いだと伝えられている。

チェックポイント 教信上人の伝説の残る池。教信寺と駅ヶ池に共通する偉人である教信上人は、この地に仏教を普及したことで有名。

「歴史上の偉人」と聞いて、どんな偉人が思い浮かびますか？ その偉人たちが加古川にゆかりのある人物だとしたら、どうですか？

こんな人物が実は加古川でも逸話を残していたんだ…とちょっぴり嬉しく、へーと思えるコースです。

日本史の教科書を開くことも大切ですが、地元と関連付けて歴史を知ること

きっと大きな財産になるのではないのでしょうか。

